

会 社 名 株式会社イーエムシステムズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 國光 浩三
 (コード番号 4820 東証 第二部)
 問 合 せ 先 執行役員管理部長 宮城 孝誓
 (T E L 06 - 6397 - 1888)

業績予想 (連結・単体) の修正について

平成 17 年 10 月 13 日に中間業績予想の修正を行いました。通期業績予想数値につきましては、決定次第お知らせすることといたしておりました。熟慮し、平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,656	711	378
今回修正予想 (B)	9,325	1,093	579
増減額 (B - A)	668	381	200
増減率 (%)	7.7%	53.7%	52.9%
(ご参考) 前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	7,315	483	276

2. 平成 18 年 3 月期 単体業績予想数値の修正 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	6,538	631	334
今回修正予想 (B)	7,010	1,004	522
増減額 (B - A)	472	373	188
増減率 (%)	7.2%	59.1%	56.2%
(ご参考) 前期 (平成 17 年 3 月期) 実績	5,437	409	233

3. 修正理由

「Recepty」における機能が安定し充実した結果、旧製品からの自社リプレースは引き続き堅調に推移しております。また、平成 16 年 11 月より販売しております服薬指導支援システム「Navity」につきましては、市場の電子薬歴に対する注目度が今まで以上に集まっていることから、「Recepty」のオプションシステムとして商品力を発揮しつつあります。さらに、ネットワーク事業のASPを活用した薬局間情報共有システム「NET-」につきましては、患者や医薬の情報共有が特に必要とされる大型調剤薬局チェーンで採用されることにより、他社製品からの「Recepty」への切り替え導入が見込まれます。

平成 18 年 4 月に予想される医療改革を見据え、調剤薬局全体としましては、IT化及びネットワーク化を充実することで業務効率の向上を図る傾向にあり、下半期の需要はさらに増加傾向にあると見込まれます。

今回の単体決算における業績予想の修正に伴い、連結決算の業績予想も修正いたします。

また、1株当たりの配当予想につきましては、現時点で修正の予定はありませんが、業績動向等勘案のうえ検討してまいります。

(注) 本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。